






人権啓発ビデオ一覧表 【 感染症(ハンセン病、HIV等)・難病患者等の人権 】

No	タイトル	時間(分)	企画/製作会社	本数	製作年
2	ムッチャんの詩	102	関西共同映画社	1	1985年
	 <p>空襲で孤児となった主人公。 その主人公も結核に冒され人々から遠ざかれ、暗く冷たい防空壕の中で12歳の生涯を閉じる。 中尾町子の戦争体験手記を小森名津が脚本化。 監督は「翼は心につけて」の堀川弘通、撮影は林淳一郎がそれぞれ担当。</p>				
49	希望の春	54	大阪府教育委員会/東映株式会社	1	2000年
	 <p>この作品は、高校進学を断念してバイクで遊び回っていた伸一と、難病を抱え死と直面しながらも希望を失わず周囲の期待に応えている隆志の友情と心の成長、そして二人を支える院内学級の教師・真由美の気づきを描いています。</p>				
110	ハンセン病 今を生きる	49	共和教育映画社	1	2007年
	 <p>ハンセン病は「らい病」と診断された患者が、強制的に隔離されたことから『強い感染力をもった恐ろしい病気』『恐ろしい伝染病』という間違っただけの考え方が広まり、偏見と差別を大きくしたといわれています。 現在では早期発見と適切な治療で、障害を残すことなく治る病気です。 私たちはハンセン病について正しく理解し、差別や偏見をなくしていかなければならないのです。</p>				
121	未来への虹 ーぼくのおじさんは、ハンセン病ー VHS	30	法務省人権擁護局/人権教育啓発推進センター	1	2005年
	 <p>ハンセン病の偏見や差別をなくすためには、ハンセン病に対する正しい知識を深めるとともに、ハンセン病患者・元患者が国の隔離政策によりどんなに身体的・精神的苦痛を与えられてきたかを広く社会の人たちに認識してもらう必要があります。 この作品は、差別の痛みや苦しみ、そして「人権」の大切さを語りかけています。</p>				

135	ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～／家族で考えるハンセン病 DVD	56分／20分	東映株式会社	1	2015年
	 <p>この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身につけておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心にわかりやすく簡潔にまとめています。 また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。</p>				